

# 小規模多機能ホーム

日 時： 平成22年2月5日（金）

場 所： 市内の小規模多機能ホーム

参加者数： 施設利用者10人

## 介護の現場にいる人に助成して、働く待遇が よくなるように取り組んでほしい

### 【日常生活（買い物・移動手段）について】

- ・ 普段の買い物は、イオンやコープに行く
- ・ イオンは広いので何がどこに売っているのか分からない
- ・ 買い物は歩いて行けないので、車の運転ができる人と一緒に行く
- ・ 車の運転ができる人が周りにいないときは、タクシーを呼び、乗り合いで買い物に行く
- ・ 妻が単車に乗って北条まで買い物に行くが、交通事故に遭わないとは限らないので心配
- ・ バスの便数が少なく不便
- ・ バスも走っていない 移動の足がない
- ・ 医者に行くのも家族にお願いしなければならないので気を使う
- ・ 買い物にあまり行かない
- ・ この施設に来る以外に出かけることは少ない
- ・ 最近商店が減った 昔はもっと賑わっていた
- ・ 商店の人が顔なじみではないチェーン店等が増えた
- ・ 食に対する不安がちょっとある
- ・ 自分に合わない加工食品が多い
- ・ 畑仕事はもうできない
- ・ 夫婦二人なので米は店で買っている
- ・ 田んぼは近所の人に耕作してもらっている
- ・ 田んぼや山では儲からない

### 【日常生活（家族・地域）について】

- ・ 昔は近所付き合いがあった
- ・ 私は市外から移り住んで来たので、昔は「町の人」と言われることが多かった
- ・ 今は近所と関わりが少ない
- ・ 近所に子どもが少ないので寂しい

- ・ 杵で餅つきして昔は家族が集まるイベントがあった
- ・ 親が子へしつけをする⇒家族の役割
- ・ 自分の子どもにもそれぞれの生活があるので、世話になるのは難しい
- ・ 妻を亡くしてから、気付くことが多かった（そういう境遇になってわかること）
- ・ 同居または近所に住んでいても孫の子育てにあまり関わっていない
- ・ 嫁に気を使う
- ・ もともと子の世帯とは別暮らしだったが、高齢になって一緒に暮らすようになった
- ・ 個人の家に集まって歌、俳句づくり等、趣味の会で出かけることがあるのがよい
- ・ 生老病死は誰にでも来るもの
- ・ 手で「書く」ことは大切
- ・ 相手に期待するばかりでなく、自分が変わる必要がある

#### 【小規模多機能ホームについて】

- ・ この施設に来たきっかけは、福祉関係の方に紹介され連れてきてもらった
- ・ 最初は心配だったが、来て見ると自分に合っていると感じた
- ・ 市外から来て利用している（グループホーム利用者）
- ・ 週3回（月・水・金）程度利用している
- ・ 土曜と日曜以外いつも来る 妻が行くように送り出す 妻も二人でじっと家にいるよりもいいと思っている
- ・ 一人住まいなので、家ではテレビを見るくらいで会話をすることがない
- ・ 自宅にいても煩わしい話が多く、楽しい話はあまりない
- ・ 家にいるより、ここで喋り、体を動かすのがよい。
- ・ 家での生活もあり、ここでの時間もある
- ・ しゃべることは楽しいし、居心地がよい
- ・ ご縁があって、紹介していただき、小規模多機能ホームに来た
- ・ 家だけでなく、施設だけでなく、両方あることがいい
- ・ ここには細やかなもてなしがある
- ・ 個々に合わせた対応をしてくれる
- ・ 健康なときに高齢者福祉施設を見学してもピンとこない
- ・ 利用し始めて1年以上の長い人も、数ヶ月の人もそれぞれすごしやすい。
- ・ 小規模多機能ホームはいいところ
- ・ 大きい高齢者施設も良さはある（大勢いるから）
- ・ 大きな施設では行き届かないところを対応してもらえる
- ・ ここでは家庭の話はあまりしない（ホーム内での人間関係をうまく保つため）
- ・ どんな言動をしても職員の方から否定されることがない。尊重してもらっている。
- ・ 通所と訪問ヘルパーを組み合わせ、生活している

#### 【福祉行政について】

- ・ これからも市役所は福祉に力を入れてほしい
- ・ 介護の現場にいる人に助成して、働く待遇がよくなるように取り組んでほしい